

最近の話題から学ぶ日本語

宇宙でエリスルロースという糖が見つかった

宇宙生物学の分野で、生命の起源に関わる重要な発見がありました。天の川銀河の中心付近には、巨大な分子雲が存在します。分子雲とは、星や惑星が誕生する前段階にあるガスや塵の集まりのことです。研究者たちは、この分子雲をスペインにある二つの電波望遠鏡で観測しました。観測によって得られたのは、分子雲から放射される電波のスペクトルデータです。分子はそれぞれ固有の波長で電波を放射するため、そのスペクトルを分析すれば、どのような分子が存在するかを特定できます。研究チームは、実験室で測定したエリスルロースという糖が放射する電波の波長パターンと、観測データに含まれる信号を比較しました。その結果、両者が一致することが確認され、この分子雲の中にエリスルロースが存在することが世界で初めて直接的に証明されたのです。この発見の意義は非常に大きいと言えます。糖は、生物の遺伝情報を担うRNAやDNAの構成要素であり、生命活動を維持するためのエネルギー源としても働く、生命にとって不可欠な物質です。今回の成果により、星や惑星がまだ形成されていない段階の宇宙空間においても、このような複雑な有機分子が自然に合成され得ることが明らかになりました。つまり、生命を構成する材料は、地球上で初めて生まれたものではなく、宇宙の中で既に用意されていた可能性があるということです。今後、生命の起源をめぐる研究に、新たな視点をもたらすことが期待されています。